

Ocean Bound Plastic

オーシャン
バウンド
プラスチック



プラスチックパレット 発売開始！第1弾

環境貢献と、地球規模の問題解決に向け
一緒に活動しませんか？



JL-D4・1111L② 9.9
円

外寸：1100×1100×150 mm
片面4方差し
ハンドフォーク可
材質：PP/再生PP
色：ブラック
動荷重：1,000kg
静荷重：4,000kg
均等積み付け、平置き専用パレット

JL-D4・1111L③ 9.9
円

外寸：1100×1100×150 mm
片面4方差し
ハンドフォーク可
材質：PP/再生PP
色：ブラック
動荷重：1,000kg
静荷重：4,000kg
均等積み付け、平置き専用パレット

印刷例

Plastics Smart

<Ocean-Bound Plastics 5%配合>
私たちは海洋汚染防止・海洋ゴミ削減の
取組に賛同致します！
～きれいな海を未来に～

素材の一部に OBP 使用。
環境省が推進する「PlasticSmart ※1」ロゴを印字

※1 海洋プラスチック問題に対して向き合い、プラスチックと賢く付き合いながら、未来へ向けた様々な取組を推進すること

Q. Ocean Bound Plastic (OBP) とは？

海洋プラスチックごみ流出の、抜本対策に繋がる素材を指します。

A. 海岸から 50km 以内の内陸部に漏出したプラスチック。
漏出プラスチックを回収する事により、海に流出する事を防ぎます。

岐阜プラスチック工業は、幅広い調達ネットワークを通じて
タイで製作した OBP を入手しパレット等を生産します。

Q. なぜタイの OBP を使うの？

A. 東南アジアから日本に流れつくプラスチックごみの量が非常に大きな割合を
しめています。
タイのプラスチックごみから製作した OBP を使う事により、海洋プラスチック
ごみの流出防止に繋がり、結果としてアジア各国に漂着するプラスチック
ごみの量を減らす事ができます。

陸上から海洋に流出したプラスチックごみ発生量(2010年推計)ランキング

順位	国名	プラスチックごみ発生量
1位	中国	353 万 t/年
2位	インドネシア	129 万 t/年
3位	フィリピン	75 万 t/年
4位	ベトナム	73 万 t/年
5位	スリランカ	64 万 t/年
6位	タイ	41 万 t/年
7位	エジプト	39 万 t/年
8位	マレーシア	37 万 t/年
9位	ナイジェリア	34 万 t/年
10位	バングラディシュ	31 万 t/年

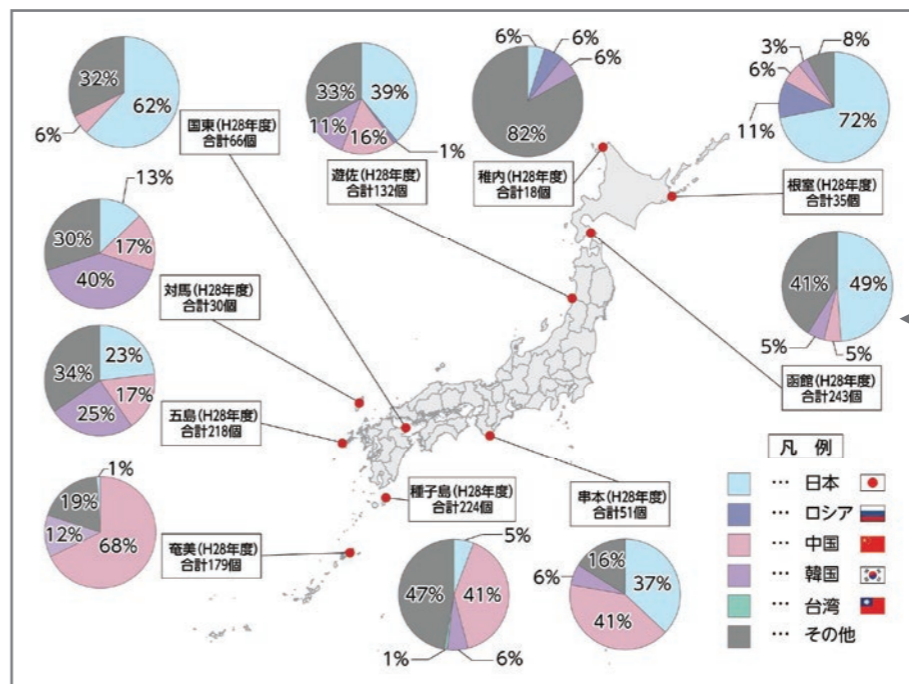
POINT!
上位にアジア圏各国が
ランクイン。^{※2}
日本は世界30位です。



※2 (出典) Jambeckら：Plastic waste inputs from land into the ocean, Science(2015)を基に記載

都道府県における漂着ごみ回収状況調査結果

海洋ごみのうち、ペットボトルについてラベルなどからどこの国のものか調べました。地域により、傾向に違いが見られます。

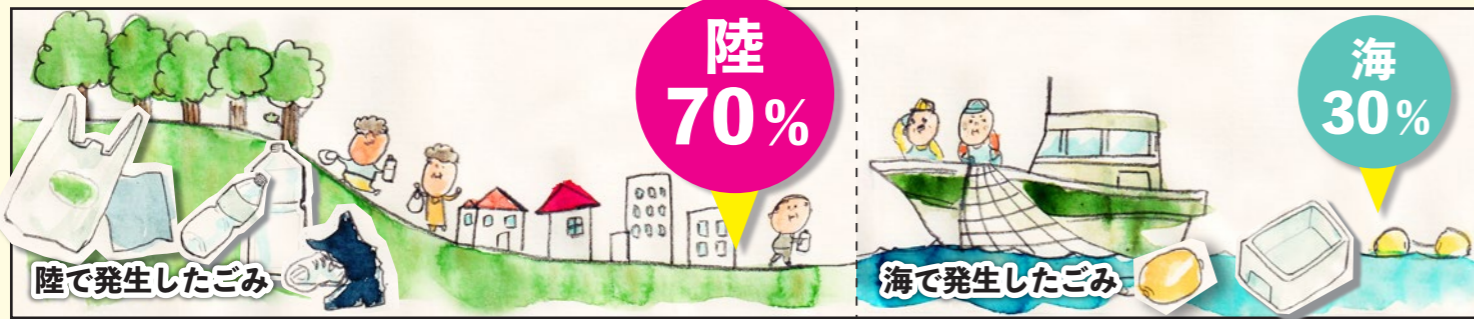


POINT!
東シナ海や日本海の海岸
では、海外からのごみが
多く、問題になっている
場所もあります。

出典：都道府県における回収状況等調査結果
(環境省, 2017, 平成28年度漂着ごみ対策総合検討業務報告書)

Q. 海洋ごみはどこから来るのか？

A. **70%** は陸で発生したごみの実態です。



陸

陸の生活ごみが水の流れて通じて海に流れ着く

海

漁業のごみ、海外からのごみなどは海から流れてくる

国内に起因する漂着ごみには、陸で生じたプラスチックごみ等の生活系ごみが多く含まれる。

＜参考＞海洋ごみに関する調査例

* 環境省HPより（平成28年度海洋ごみ調査の結果について）<http://www.env.go.jp/press/104995.html>

* 公益財団法人かながわ海岸美化財団HPより（海岸ごみについて）<http://www.bikazaidan.or.jp/gomi/kaigangomi.html>

出典：「環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務」抜粋

調達するOBPは「UL規格認定」を受けています

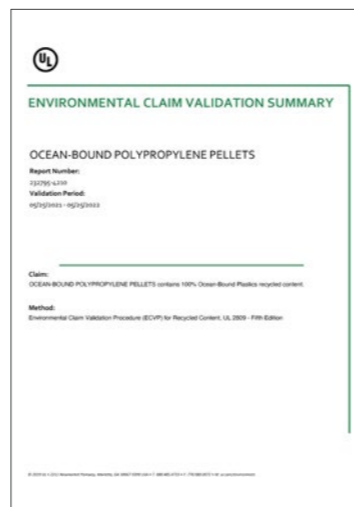
UL規格とは、Underwriters Laboratories Limited Liability Company社の認証規格。

材料・部品・装置・道具類などから最終製品まで、機能と安全性の規格基準を設定し、同時に評価方法を策定、実際には評価試験を実施する。

これらの試験に合格した際には、UL認証マークの使用を認める。

認められた場合、合格を示すマークを表示する認可を与えている。

ULはマークを発行したリストを管理し提供することで、利用者に材料や製品などの検査履歴を知らしめる役割を果たしている。



石油化学企業による 素材開発の取り組み

世界の
メジャー企業も
取り組んでいます

SABIC（サウジアラビア基礎産業公社）はOBPをリサイクルした素材の開発を進め、世界で初めてOBPをリサイクルした循環型ポリマーの製造に成功しました。国内外のサーキュラーエコノミーに関するプラットフォームである、Circular Economy Hubにも取り上げられました。

『SABIC、オーシャンバウンド・プラスチックをリサイクルした世界初の循環型ポリマーを開発』

『石油化学グローバル大手の SABIC（サウジアラビア基礎産業公社）はこのほど、河川や海岸から半径 50km 以内の内陸部などに漏出したプラスチック（以下、オーシャンバウンド・プラスチック）から世界初の認証済循環型ポリマーを製造したことを発表した。

同製品はオーシャンバウンド・プラスチックをリサイクルしたもので、マレーシアのプラスチックリサイクル企業 HHI の協力を得て実現した。SABIC と HHI はプラスチックのサーキュラーエコノミー実現に向けて継続的に取り組んでおり、プラスチックの海や水路への流入を防いでいきたい考えだ。』

出典：Circular Economy Hub Editorial Team, 2021年12月7日
<https://cehub.jp/news/sabic-hhi-ocean-bound-plastic-circular/>



CO₂ 排出量削減にも寄与します

CO₂削減量「見える化」ご参考事例 **バージンプラ ⇒ リサイクルプラ(OBP含む)への転換**

リスパレット JL-D4・1111L にてシミュレーション

リサイクル材の積極的利用によるCO₂排出量削減

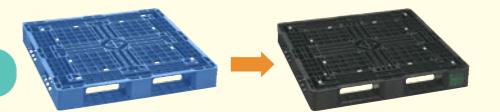
1,000 枚の場合



CO₂削減

▲77%
ポリプロピレンの場合、自重 1kg 当たり約 1.14kg -CO₂削減

CO₂ 削減量 11,322kg -CO₂



OBP リスパレットは、一般プラスチックと同一素材を活用（PP製）

水平リサイクルが可能ですので、資源循環に貢献します。

